

市の決算

一般会計

市は、市税や地方交付税などを財源にして予算を編成し、市民生活の向上と快適なまちづくりに取り組んでいます。令和4年度決算がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【問】財政課 ☎613-8362 【広報ID】1046369

詳しくは、市ホームページをご覧ください



一般会計では福祉や教育、都市整備など、市の主なお金の出入れをしています。

令和4年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた26億4423万円から、令和5年度に繰り越した事業の財源9億772万円を差し引いた実質収支で、17億3651万円の黒字になりました。

歳入 1393億4550万円

令和3年度に比べて、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金などの国庫支出金が減ったものの、県支出金や市税が増えたことにより、総額では1億8664万円の増となりました。

歳出 1367億127万円

令和3年度に比べて、民生費や商工費などが減った一方、総務費や教育費などが増えたことにより、総額では4476万円の増となりました。

決算のポイント

● 公共施設の大規模改修

公共施設保有最適化※1・長寿命化※2のため、庁舎や学校、教育文化福祉施設、市営住宅など市の施設の整備、維持・更新に取り組んでいます。

- ※1 将来にわたり施設を適切に維持できるよう、限られた財源を効果的に活用し、効率的な施設運営を目指すこと
- ※2 建物を80年使い続けることを目指し、建設後、おおむね20年目と60年目に修繕、40年目に大規模改修をすること

大規模改修をした主な施設と決算額

改修の内容	決算額
盛岡南公園野球場整備	35億3515万円
仁王小・見前小・北陵中の校舎の長寿命化改修	8億7391万円
盛岡市学校給食センターの建設	20億6379万円

● 市債残高の推移

市債残高は1403億696万円で、令和3年度に比べ15億9166万円増加しました。令和4年度末のみ市民一人当たりの借金は49万8237円で、令和3年度に比べ9878円の増です。

※参考：人口28万1607人（令和5年3月31日現在。住民基本台帳登録人口（外国人含む））

● 財政指標（財政健全化判断比率）

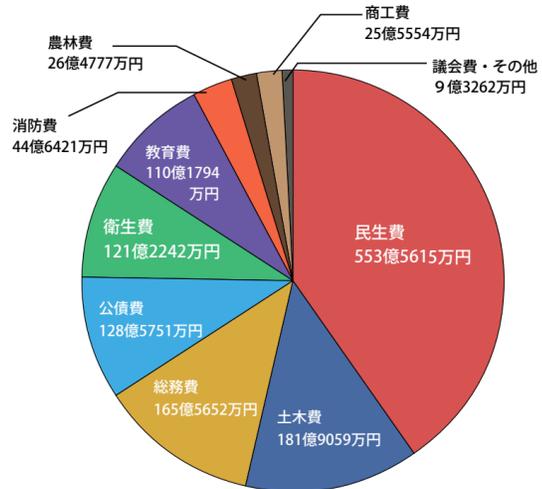
地方公共団体の財政健全度を判断する4つの指標について、市はいずれも健全水準です。

※いずれかの指標が基準を超えると「早期健全化団体」や「財政再生団体」となり、財政健全化のための税金の増額、住民サービスの見直しなどが必要になります

	盛岡市	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字割合	赤字は発生していません	11.25%	20%
②連結実質赤字比率 全ての会計の赤字割合	赤字は発生していません	16.25%	30%
③実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	10.2% (9.9%)	25%	35%
④将来負担比率 将来負担すべき負担の割合	71.2% (57.8%)	350%	

※（ ）内は令和3年度の比率 健全財政 → 財政悪化

歳出の内訳と主な事業



◆ 民生費 553億5615万円

- 私立保育所や認定こども園などへの運営費給付、公立保育所の運営 113.8億円
- 子育て世帯やひとり親世帯への特別給付金の給付 23.5億円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付 10.9億円
- 乳幼児や小・中学生、妊産婦への医療費の給付 9.3億円
- 児童センター（見前北、向中野）の整備 2.9億円

◆ 土木費 181億9059万円

- 道明、都南中央第三、太田地区の区画整理 26.6億円
- 道路の除排雪 15億円

◆ 総務費 165億5652万円

- きたぎんボールパークの整備 35.4億円
- 移住・定住・交流人口対策 0.7億円



きたぎんボールパーク（いわて盛岡ボールパーク）※令和5年4月供用開始

◆ 公債費 128億5751万円

- 公共施設・インフラの整備などのための市債の返済や利子の支払い

◆ 衛生費 121億2242万円

- 新型コロナウイルスワクチンの接種 28.4億円
- 幼児や小・中学生のインフルエンザ予防接種補助金など 8.8億円
- 感染症の診療費や検査など 7.5億円

◆ 教育費 110億1794万円

- 盛岡市学校給食センターの建設 20.6億円



盛岡市学校給食センター ※令和5年4月供用開始

◆ 消防費 44億6421万円

- 玉山地域の防災行政無線の更新など 0.1億円

◆ 農林費 26億4777万円

- 農家への肥料等価格高騰に対する支援 0.8億円

◆ 商工費 25億5554万円

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急経済対策など 6.3億円
- 市内中小企業者などへの金融対策支援 5.9億円
- 観光客の誘致・宣伝、宿泊事業者への支援 2.2億円
- IT関連企業の誘致を促進するための費用 0.2億円

上下水道局の決算

水道と下水道のことをもっと知ってほしい！



上下水道事業は、皆さんからの水道料金と下水道使用料を主な財源として運営しています。施設老朽化による整備費の増加や、人口減少に伴う料金収入の減少などにより厳しい経営環境にありますが、長期的に、安心して上下水道を使っていただけのように努めていきます。

【問】上下水道局経営企画課 ☎623-1442

水道事業会計 →

水道料金などの収入
71億2千万円

純利益 20億円
過去の蓄えなどの一部
35億1千万円

● 水道管などを整備するための支出
41億5千万円
● 過去の借入金の返済
13億6千万円



水道の詳しい決算状況や経営分析は、市上下水道局公式ホームページをご覧ください



教えて！水道ぼうや

- 私たちが安心して水を使うためのお金って足りているの？
- 令和4年度は20億円の黒字だよ。
- 20億円も!?すごいね!
- うん。でも、水道料金などの収入は年々減っているんだ。
- 黒字が20億円もあるなら、大丈夫だよ？
- そうとは言い切れないんだ。黒字分は水道管などを整備するために使われるんだけど、盛岡市は水道事業を始めて89年を迎え、水道管や飲み水を作る浄水場が古くなってきているんだ。だから、壊れる前に水道管を交換したり、将来的には浄水場を建て替えることも考えなきゃいけないんだ。
- どの浄水場が古いの？
- 米内浄水場だよ。昭和9年12月から今まで水を供給し続けているんだ。
- きれいな桜が咲くところだよ。行ったことあるよ。
- 浄水場や水道管などを計画的に整備するために、お金をためる必要があるんだ。
- 私が大人になって、おばあちゃんになっても、水を作り続けるために、大切なことなのね。



米内浄水場

教えて！下水道あいちゃん

- 下水道の黒字は1億6千万円ね。私にとっては大金だけど、水道と比べると下水道はとんでもないね。
- 実はそうなの。令和3年度の黒字は3億9千万円だったから、年々減り続けているのよ。
- どうしてなの？
- 人口減少や節水機器の普及で水道の使用量が減っているから、水道の使用量に応じて算定される下水道使用料の収入も減っているの。
- そうなんだ。あれ？右の図には「借入金」というのがあるね。水道にはなかったけど。
- 新しい下水道管の整備などのために、13億円以上の借金をしたのよ。
- 黒字が少ないのに、借金もして大丈夫なの？
- 下水道は整備を始めて70年経っているから、古くなった下水道管を生まれ変わらせる必要があるの。もちろん、なるべくお金が掛からないように努力しているわ。
- どうやって？
- 右の写真のように、管の内側に新たな管を入れているの。
- なんか、かっこいいね!
- みんなの生活に欠かせない下水道を将来にわたって使い続けられるように、必要なことに取り組んでいるのよ。



新しい管を入れている様子

下水道事業会計

下水道使用料などの収入
79億円

純利益(黒字) 1億6千万円
下水を処理するための支出
77億4千万円

純利益 1億6千万円
国からの補助金、市の負担、過去の蓄えなどの一部
39億5千万円

借入金 13億5千万円

● 下水道管などを整備するための支出
26億円
● 過去の借入金の返済
28億6千万円



下水道の現状について詳しくは、市上下水道局公式ホームページをご覧ください



下水道の詳しい決算状況や経営分析は、市上下水道局公式ホームページをご覧ください